

平成 22 年 4 月 23 日

## 都市ガスの付臭剤成分の変更について

宮崎ガス株式会社

弊社は、都市ガスの原料である天然ガスに都市ガス特有の臭いとなる付臭剤を加えて、お客様にガスをお届けしておりますが、このたび、付臭剤に含まれている硫黄分を減らし環境性を高める目的で、付臭剤の成分を変更致します。

### 1. 付臭剤の成分

現 在：THT（テトラヒドロチオフェン）100%



変更後：AL-NON-SH（TBM－8%、THM－0.8%、CH－91.2%を混合した成分）

※ TBM：ターシャリーブチルメルカプタン

※ THM：ターシャルヘプチルメルカプタン

※ CH：シクロヘキセン

これより、ガス中硫黄含有量は、 $12.01\text{mg}/\text{m}^3\text{N}$ から  $0.5\text{mg}/\text{m}^3\text{N}$ となります。

### 2. 開始時期

平成 22 年 6 月より都城支店から開始し、宮崎支店、延岡支店を変更し、7 月末には全支店変更完了致します。

### 3. 臭いの特徴

現 在：有機溶剤系のツンとした臭い



変更後：たまねぎが腐ったような臭い

### 4. 付臭剤の要件

- 人体に有害でないこと
- 臭覚疲労を起こしにくく、低濃度でも臭気を感じることが出来ること
- 一般に存在する臭いとは明瞭に識別できること
- 導管やガス機器に吸着されたり、損傷を与えたりしないこと
- 化学的に安定して、燃焼を妨げたり燃焼後に臭気が残らないこと
- 臭覚以外の方法で検査可能であること